

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	(755) 6601
担当部課名	生涯学習部	生涯学習	課	大野北公民館
事務事業名	公民館活動		事業コード	15110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	~63 年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

--

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
地域の社会教育機関として、住民の学習・文化・スポーツ要求を正しくとらえ、地域住民の人間発達のかてとなる事業を展開する		大野北公民館区内住民をはじめとする一般市民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
青少年事業	11事業		
成人事業	12事業		
女性事業	2事業		
高齢者事業	2事業		
一般事業	14事業		
合計	41事業 13,820人参加		
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	機会提供率	一人あたりの経費	市民参画率
指標式	事業線参加者数 × 100 / 館区内住民数 (%) (館区内住民の何%分の学習機会を提供できたか)	年間決算額 / 総参加者数 (円/人) (一人分の学習機会提供にいくらかかるか)	企画・運営等に市民が参画した事業数 総事業数 市民参画率 = × 100 / (%) (実施事業の何%に市民が参画したか)
指標設定の意図	学習機会の充実を図る	費用対効果を考慮し、効率的な予算執行を行う	的確なニーズ把握や市民の自主的学習を進めるため市民参画による事業の充実を図る

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	32	29	a 26	b 30	30	
指標	159	169	c 184	d 180	175	
指標	76	89	e 88	f 85	90	
事業費	決算(予算)額	2,631	2,531	2,540	2,766	2,906
	人員・時間数 人件費					
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	2,631	2,531	2,540	2,766	2,906
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか											
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 97.5%									
	B : 一部達成していない(100%> 80%)										
	C : 達成していない (80%> )										
a	26.0	b	30.0	c	184.0	d	180.0	e	88.0	f	85.0
$\frac{a}{b} \times 100 = 86.7\%$		$\frac{c}{d} \times 100 = 102.2\%$		$\frac{e}{f} \times 100 = 103.5\%$							
理由 :	大きな大会等、雨天中止となったものが数事業あり、準備に費用をかけたものの実施できなかったため、総参加者数が大幅に減少し、経済性も悪化した										

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	ほとんどの事業で企画段階から市民の参画を得ており、市民ニーズは的確に捉えられている
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	雨天により費用対効果が大きく損なわれる場合への対応等が今後の課題となっている
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	地域に密着した社会教育活動、生涯学習機会の充実に大きな役割を果たしており、地域コミュニティにも大きく貢献していることから、今後とも市が運営していくことが必要である
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	各事業とも、参加者のアンケートや参画した市民の反省会を行い翌年度にフィードバックしていることから、市民の満足度は高いと考えられる
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	市民自らの手で地域住民の学習機会の提供をおこなっており非常に有効な事業である
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 予算効率を向上させ、学習機会の更なる充実に振り向ける余地がある
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 市民参画を更に促進することにより、費用対効果を向上させる余地がある

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	今後も、地域に密着した社会教育活動、生涯学習機会の充実に努め、地域コミュニティの形成に努力していくとともに、より地域住民の参加企画を進めていきたい。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--